

# 政府方針 早期決定を

仙台で  
推進協

17年度総会、決議採択



東北誘致

【仙台支社】国際リニア  
コライダー（ILC）の誘  
致を目指す東北ILC推進

協議会は28日、仙台市内で  
2017年度の総会を開  
き、日本政府に国内誘致方  
針の早期決定を求める決議  
を採択した。誘致の可否判  
断が迫る本年度は実現に向  
けて正念場となり、東北一  
丸で受け入れ態勢の構築を

加速させる」とを確認し  
た。  
【関連記事2面】  
共同代表の里見進東北大  
総長、高橋宏明東北経済連  
合会名誉会長や達増知事ら  
が出席。里見総長は「昨  
年12月の国際学会で初期投

資を抑える」ことが大筋合意  
され、局面が大きく動じつ  
としている。実現に向け政  
府に積極的に働き掛けてい  
く」とあいさつした。

協議会役員の決意表明  
で、達増知事は「本県もや  
るべきことをしっかりと取り  
組む。日本、世界で建設が  
決定されるよう頑張ってい  
こう」と訴えた。

決議内容は日本政府に対  
し、実現に向けた国内の取  
り組み状況の海外発信を要  
請。ILCに用いる超電導

Cのコスト削減が8月に国  
際承認され、18年夏までに  
は欧州で素粒子物理戦略の  
議論が本格化すると説明。  
「この1年が重要。今ある  
インフラを生かしてまちづ  
くりの準備を進めなければ  
ならない」と促した。

宇宙創成の謎に迫るIL  
Cは右手、宮城両県にまた  
がる北上山地（北上高地）  
が世界最有力の建設候補地  
とされ、日本政府は17年末  
から18年（）国内誘致の可  
否を判断する見込み。